

Canon

P39-D ^{IV}

使用説明書

保証書付



はじめに

このたびは本機をお買い上げくださいますて、
ありがとうございました。

本書はご使用前の準備、目的別の説明と計算例、
保守に関するの内容で構成されています。

本機の機能を十分にご理解いただき、より効果
的にご利用いただくために、ご使用前に本書を
よくお読みください。またお読みくださった後
も大切に保管してください。

目次

1 準備しましょう

各部の名称	3
ペーパーホルダーとロールペーパーを取付けるには	4
ご使用前に	5

2 計算しましょう

小数点位置を指定するには	6
印字するには	7
基本計算をするには	8
パーセント計算をするには	11
定数計算をするには	13
累乗・逆数計算をするには	15
メモリ計算をするには	16
通貨換算をするには	22
データ（日付や品名コードなど）・小計の印字や合計の再印字をするには	24
アイテム数をカウントするには	26
応用計算をするには	27
オーバーフロー・エラー	28

3 長くお使いいただくためには

お願いとご注意	29
ロールペーパーを交換するには	30
インクリボンを交換するには	31

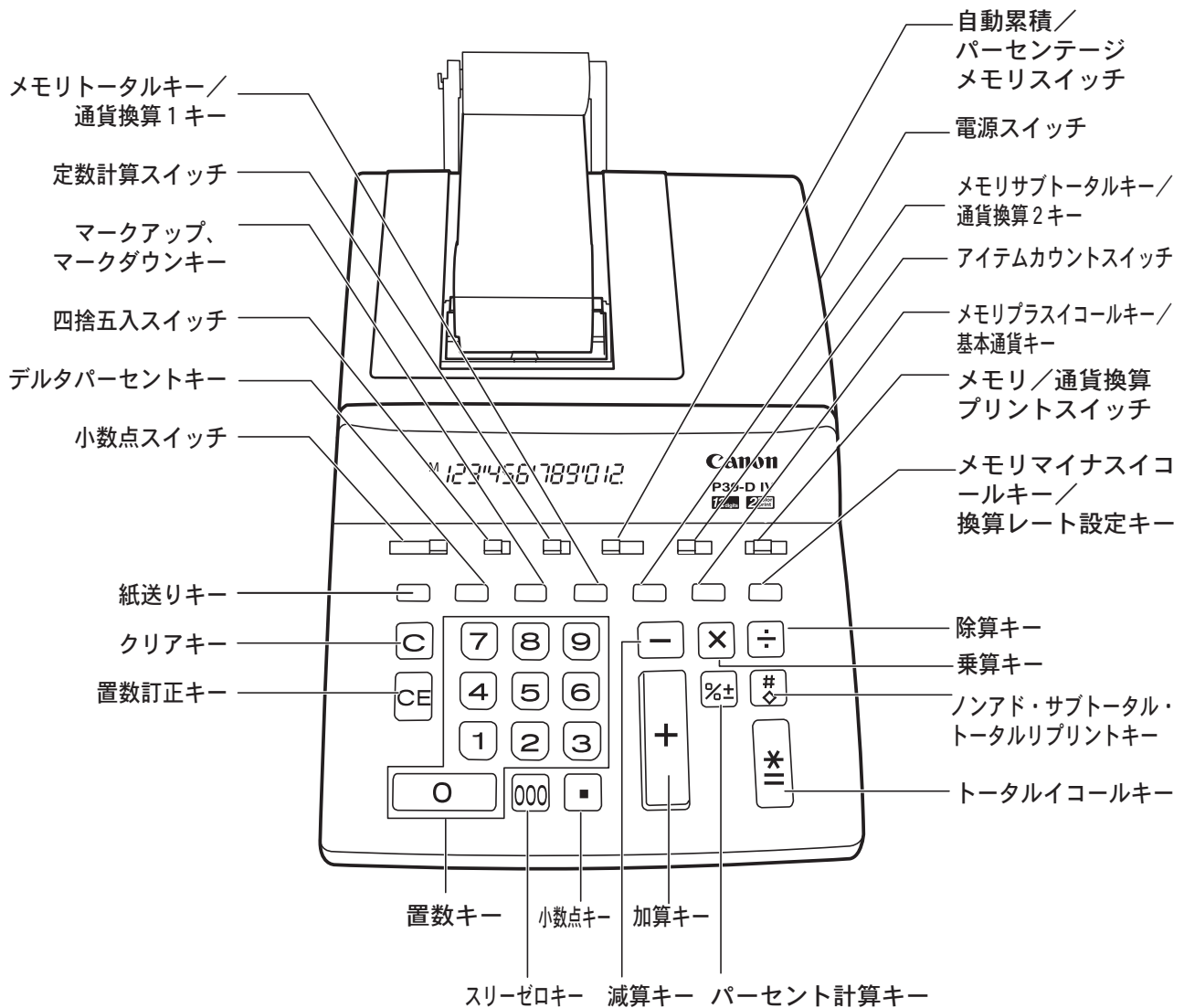
仕様	33
----------	----

保証内容	34
------------	----

保証書

1 準備しましょう

各部の名称

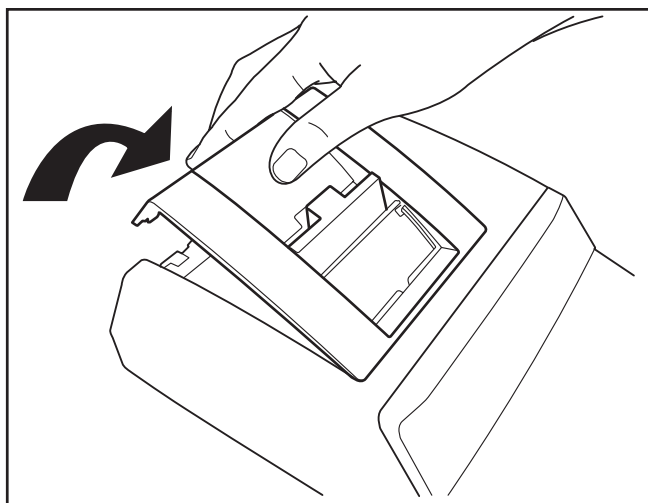


ペーパーホルダーとロールペーパーを取付けるには

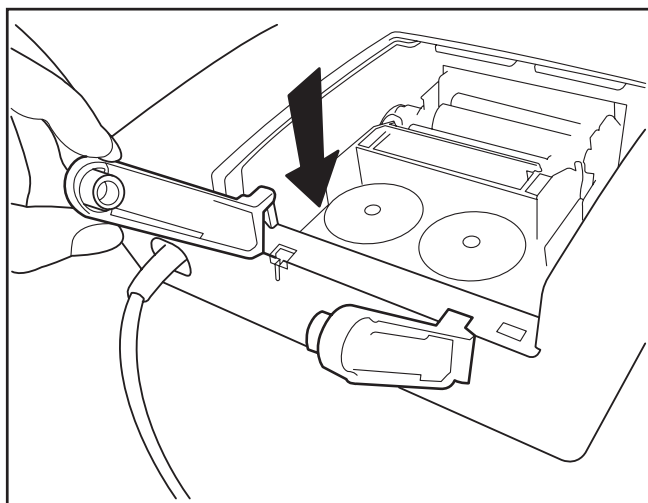
本機をプリンタ機として使用する場合にはロールペーパーの取付けが必要です。以下の手順にしたがって、付属のペーパーホルダーとロールペーパーを取付けてください。

■ペーパーホルダーの取付け

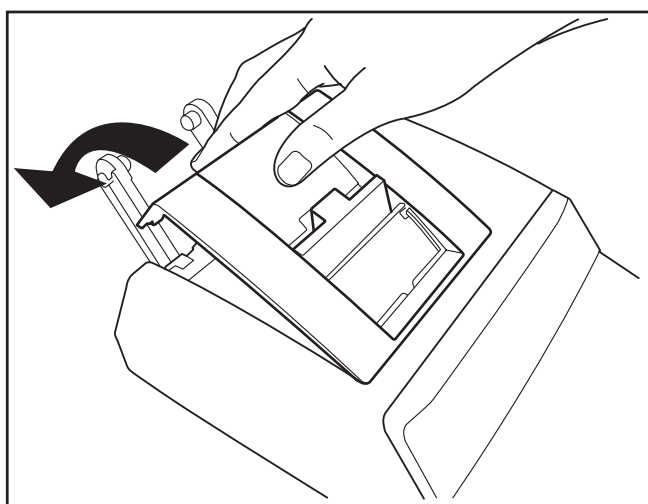
1. プリンタカバーの突起を持ち上げて、プリンタカバーを取り外します。



2. 左右のペーパーホルダーをそれぞれ本機後部の溝に合わせて押し込みます。



3. プリンタカバーを取り付けます。



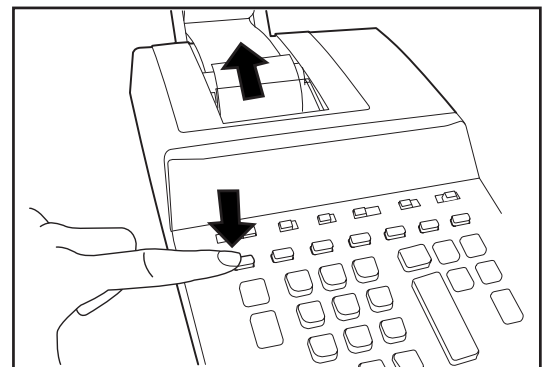
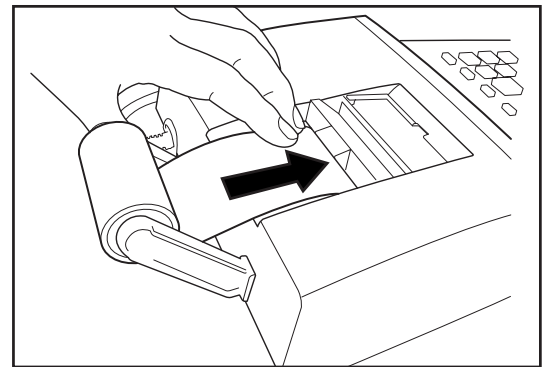
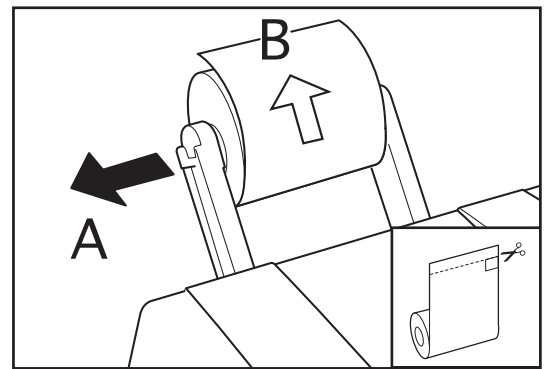
■ロールペーパーの取付け

1. 矢印Aの方向にホルダーを拡げながら、ロールペーパーをホルダーの間にはさみ込みます。このときにロールペーパーの先端が図の矢印Bの方向になるようにします。

(紙を差し込む際、先端は折らずに、図のように、ほぼ直角に切ってください。)

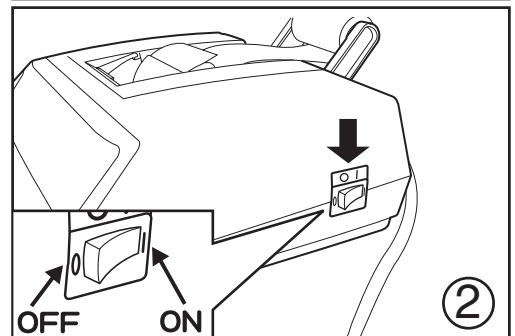
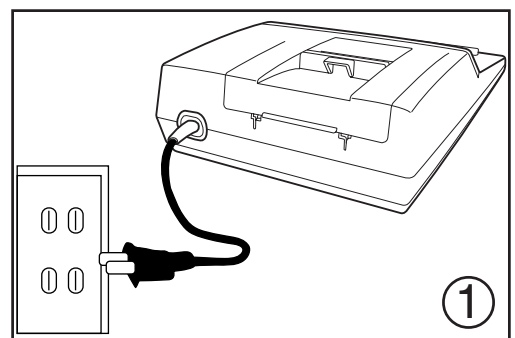
2. ロールペーパーの先端を、ペーパー挿入口へ入れ、先端が突き当たるまでしっかりと差し込みます。

3. 電源を入れ、紙送りキーを押し、ロールペーパーを送り込みます。



ご使用前に

- 1) ご使用前には本体裏面の電池ブタから絶縁テープをとりはずし、本体裏面のRESETスイッチを押してください。
- 2) 本体をコンセントに近い場所に置き、ACコードをコンセントに差し込みます。(図①)
- 3) スイッチを入れONの状態にします。(電源スイッチは本体右側にあります) その後、「0.」が自動的に表示されます。(図②)



2 計算しましょう

小数点位置を指定するには

小数点スイッチ

乗除算の計算結果と加減算の置数の小数点位置を指定するスイッチです。小数点方式には次の3つがあります。

小数点方式	小数点スイッチのセット位置
1. 小数点位置指定方式	0. 1. 2. 3
2. 浮動小数点方式	F
3. アドモード方式	+

四捨五入スイッチ

計算結果を求めるときに、指定した小数点の次の桁を四捨五入 (5 / 4)、または切り捨て (7) 指定をするスイッチです。

例 1) $5 \div 9 = 0.556$



操作	印字
5 \div	5 • \div
9 $\frac{*}{=}$	9 • =
	0 • 556 *

例 2) $5 \div 9 = 0.555$



操作	印字
5 \div	5 • \div
9 $\frac{*}{=}$	9 • =
	0 • 555 *

1. 小数点位置指定方式

整数桁の部分のみ表示、印字します。

小数点以下指定した桁までの数字を表示、印字します。

例 1) $1.2345 - 456 = -454.77$

(この場合は2桁まで)



操作	印字
1.2345 $+$	1 • 23 +
456 $-$	456 • 00 =
$\frac{*}{=}$	454 • 77 -*

例 2) $123 \times 0.456 = 56.09$




操作	印字
123 \times	123 • \times
\odot 456 $\frac{*}{=}$	0 • 456 =
	56 • 09 *

※小数桁だけの数値の場合は小数点の前に \odot キーを押す必要はありません。

2 浮動小数点方式

 12桁以内の有効数字はすべて印字、表示されます。

3. アドモード方式

 加減算の置数の小数点位置を、自動的に小数点以下2桁に指定します。
小数点キーを押す必要がなく、ドル計算などに便利です。

例)



操作

1250 

印字

12・50 +

印字するには

プリント ON/OFF スイッチ

演算時に印字を行なうかどうかを指定するスイッチです。次の二種類の指定ができます。

1) 通貨換算時



「ON」に指定：印字しながら通貨換算を行ないます。



「OFF」に指定：印字をせずに通貨換算を行ないます。

2) その他の演算時



「ON」に指定：印字しながら通貨換算以外の演算を行ないます。



「OFF」に指定：印字をせずに通貨換算以外の演算を行ないます。

基本計算をするには

この計算機は加算式なので「5 + 8 - 2」のような計算は「5 $\boxed{+}$ 8 $\boxed{+}$ 2 $\boxed{-}$ 」と操作します。

*加算式は主に記録式計算機で使われる方法で、伝票計算などに大変便利です。

■加減算

計算式	設定	操作手順	印字内容
1) 加減算 2 + 5 - 3 = (4)		2 $\boxed{+}$ 5 $\boxed{+}$ 3 $\boxed{-}$ $\boxed{=}$	2・00 + 5・00 + 3・00 - 4・00 *
2) リピート加減算 2.5 2.5 + 2.5 ----- (7.5)		2.5 $\boxed{+}$ $\boxed{+}$ $\boxed{+}$ $\boxed{+}$ $\boxed{=}$	2・50 + 2・50 + 2・50 + 7・50 *
3) アドモード\$計算 12.55 4.20 - 10.45 ----- (6.30)		1255 $\boxed{+}$ 420 $\boxed{+}$ 1045 $\boxed{-}$ $\boxed{=}$	12・55 + 4・20 + 10・45 - 6・30 *

- $\boxed{=}$ キーを押して、加減算の結果を印字すると、結果を印字したあとで、……が印字されます。本書の印字内容では演算途中で印字される以外は省略しております。
- $\boxed{=}$ キーで結果を求めた後で置数すると、前の置数は自動的にクリアされるので次の計算をする前に \boxed{C} キーを押す必要はありません。

計算式	設定	操作手順	印字内容
4) 演算結果のリピート計算 2 + 3 ----- (5) 5 + 5 + 5 ----- (15)		2 $\boxed{+}$ 3 $\boxed{+}$ $\boxed{=}$ $\boxed{+}$ $\boxed{+}$ $\boxed{+}$ $\boxed{=}$	2・00 + 3・00 + 5・00 * 5・00 + 5・00 + 5・00 + 15・00 *

■乗除算

計算式	設定	操作手順	印字内容
1) 連乗算 2.5×6.24 $\times 8.365$ $= (130.494)$		2.5 \times 6.24 \times 8.365 \times	$2 \cdot 5$ \times $6 \cdot 24$ \times $8 \cdot 365$ $=$ $130 \cdot 494$ $*$
2) 連乗除算 78×567 $\div 0.032$ $= (1382062.5)$		78 \times 567 \div 0.032 \div	$78 \cdot$ \times $567 \cdot$ \div $0 \cdot 032$ $=$ $1\ 382\ 062 \cdot 5$ $*$

※小数点だけの数値の場合は小数点の前に \odot キーを押す必要はありません。

計算式	設定	操作手順	印字内容
3) 負数を含む乗除算 $(-365) \div 7$ $\times 2 = (104.29)$		C 365 $-$ \div 7 \times 2 \times	C $365 \cdot 00$ $-$ $365 \cdot 00$ $- \div$ $7 \cdot$ \times $2 \cdot$ $=$ $104 \cdot 29$ $-*$

● 乗除算において最初にマイナスの数値を置数する場合は C 、置数、 $-$ の順に操作してください。

■置数訂正について

置数ミスを訂正するときは、置数訂正キー CE を使用します。ただし、置数以外のキー ($+$ $-$ \times \div) などを押すと、 CE キーを押しても、置数の訂正はできません。

例) 123 \times 789 \div CE

\div キーを押した時点で 123×789 という計算が行なわれますので CE キーを押しても 789 および、 \div の訂正はできません。

また加減算の際、誤って入力したときには入力した数値と逆の符号のキー（正数のときは減算キー \ominus ）を押します。

計算式	設定	操作手順	印字内容
$\begin{array}{r} 14 \\ + 25 \\ + 36 \\ - 36 \\ + 47 \\ \hline 86 \end{array}$	<p>OFF ON OFF ON メモリ・プリント 通貨換算・プリント + 3 2 1 0 F 5/4 ↗ k AMMU %± OFF n+ n+/- アイテム</p>	14 \oplus 25 \oplus 36 \oplus \ominus 47 \oplus \equiv	14 • 00 + 25 • 00 + 36 • 00 + 36 • 00 - 47 • 00 + 86 • 00 *

■混合計算

計算式	設定	操作手順	印字内容
$(2 + 3) \times 4 - 5 = (15)$	<p>OFF ON OFF ON メモリ・プリント 通貨換算・プリント + 3 2 1 0 F 5/4 ↗ k AMMU %± OFF n+ n+/- アイテム</p>	2 \oplus 3 \oplus \equiv \times 4 \equiv \oplus 5 \ominus \equiv	2 • 00 + 3 • 00 + 5 • 00 * 5 • 00 x 4 • = 20 • 00 * 20 • 00 + 5 • 00 - 15 • 00 *
$\frac{(12.3 - 2.5) \times 1.32}{0.45} + 2.04 = (30.79)$	<p>OFF ON OFF ON メモリ・プリント 通貨換算・プリント + 3 2 1 0 F 5/4 ↗ k AMMU %± OFF n+ n+/- アイテム</p>	12.3 \oplus 2.5 \ominus \times 1.32 \div \ominus 45 \equiv \oplus 2.04 \oplus \equiv	12 • 30 + 2 • 50 - 9 • 80 x 1 • 32 ÷ 0 • 45 = 28 • 75 * 28 • 75 + 2 • 04 + 30 • 79 *

パーセント計算をするには

■パーセント、割増し、割引き計算

計算式	設定	操作手順	印字内容
1) 単純パーセント計算 2,350の17%はいくらか $2,350 \times \frac{17}{100}$ $= (399.5)$		2350 <input type="text" value="x"/> 17 <input type="text" value="%±"/>	2 350 • x 17 • % 399 • 50 ◇
2) 456は789の何%か？ $\frac{456}{789} \times 100$ $= (57.79)$		456 <input type="text" value="÷"/> 789 <input type="text" value="%±"/>	456 • ÷ 789 • % 57 • 79 ◇
3) 割増し計算 2,000の12%割増しは $2,000 + 2,000 \times \frac{12}{100}$ $= (2,240)$		2000 <input type="text" value="x"/> 12 <input type="text" value="%±"/> <input type="text" value="+"/>	2 000 • x 12 • % 240 • 00 ◇ 240 • 00 + 2 240 • 00
4) 割引き計算 2,000の12%割引きは $2,000 - 2,000 \times \frac{12}{100}$ $= (1,760)$		2000 <input type="text" value="x"/> 12 <input type="text" value="%±"/> <input type="text" value="-"/>	2 000 • x 12 • % 240 • 00 ◇ 240 • 00 - 1 760 • 00

- 割増し計算では キーを押すことにより、割増し額を印字し、次に キーを押すことにより、割増し合計を印字します。
- 割引き計算では キーを押すことにより、割引き額を印字し、次に キーを押すことにより割引き合計を印字します。

■増減率計算

計算式	設定	操作手順	印字内容
1) 456は321の何% アップか？ $\text{増減率} = \frac{456 - 321}{321}$ $\times 100 = (42.06)\%$		456 <input type="text" value="÷"/> 321 <input type="text" value="Δ%"/>	456 • ÷ 321 • = 135 • 00 42 • 06 Δ%

計算式	設定	操作手順	印字内容
2) 前年売上高 120 (千円) 今年売上高 150 (千円) この場合、増減率 は何%か? $\text{増減率} = \frac{150 - 120}{120} \times 100 = (25\%)$		150 <input type="text"/> ÷ 120 <input type="text"/> Δ%	150 • ÷ 120 • = 30 • 00 25 • 00 Δ%

■マークアップ、マークダウン計算

例1) 2000円の仕入れ値で、売価に対し、マージン20%を得たいときの売価を求める。

計算式	設定	操作手順	印字内容
$\text{売価} = \frac{2,000}{1 - \frac{20}{100}} = (2,500)$		2000 <input type="text"/> × 20 <input type="text"/> MU&MD	2 000 • × 20 • M% 500 • Δ+ 2 500 • 00

例2) 2000円の売価で、仕入れ値に対し、マージン20%を得たいときの仕入れ値を求める。

計算式	設定	操作手順	印字内容
$\text{仕入れ値} = \frac{2,000}{1 + \frac{20}{100}} = (1,666.67)$		2000 <input type="text"/> ÷ 20 <input type="text"/> MU&MD	2 000 • ÷ 20 • M% 333 • 33 Δ- 1 666 • 67

例3) 今月の売り上げは先月より12%増して456(千円)になった。
先月の売り上げはいくらか?

計算式	設定	操作手順	印字内容
$\begin{aligned} \text{先月の売上} &= \frac{456}{1 + \frac{12}{100}} \\ &= (407.14) \end{aligned}$		456 <input type="text"/> ÷ 12 <input type="text"/> MU&MD	456 • ÷ 12 • M% 48 • 86 Δ- 407 • 14

定数計算をするには

■定数計算

計算式	設定	操作手順	印字内容
1) 定数乗算 $300 \times 2,145$ $= (643,500)$ $300 \times 4,950.6$ $= (1,485,180)$	<p>OFF ON OFF ON メモリ・プリント 通貨換算・プリント + 3 2 1 0 F 5/4 7 K AMMU %± OFF n+ n+/- アイテム</p>	$300 \times$ $2145 \times$ $4950.6 \times$	$300 \cdot \times$ $2145 \cdot =$ $643500 \cdot 00 *$ $4950 \cdot 6 K$ $1485180 \cdot 00 *$
2) 定数除算 $31,750 \div 500$ $= (63.5)$ $54,236 \div 500$ $= (108.47)$	<p>OFF ON OFF ON メモリ・プリント 通貨換算・プリント + 3 2 1 0 F 5/4 7 K AMMU %± OFF n+ n+/- アイテム</p>	$31750 \div$ $500 \times$ $54236 \times$	$31750 \cdot \div$ $500 \cdot =$ $63 \cdot 50 *$ $54236 \cdot K$ $108 \cdot 47 *$

- 定数乗算では被乗数、定数除算では除数がそれぞれ自動的に定数となります。
- 定数計算を行なう場合は定数計算スイッチを 位置に設定してください。

■定数パーセント計算

計算式	設定	操作手順	印字内容
1) $300 \times 3\% = (9)$ $300 \times 4\% = (12)$ $300 \times 5\% = (15)$	<p>OFF ON OFF ON メモリ・プリント 通貨換算・プリント + 3 2 1 0 F 5/4 7 K AMMU %± OFF n+ n+/- アイテム</p>	$300 \times$ $3 \% \pm$ $4 \% \pm$ $5 \% \pm$	$300 \cdot \times$ $3 \cdot \%$ $9 \cdot 00 \diamond$ $4 \cdot \%$ $12 \cdot 00 \diamond$ $5 \cdot \%$ $15 \cdot 00 \diamond$

計算式	設定	操作手順	印字内容
2) 定数割増計算 123 の 12% 割増 = (137.76) 123 の 15% 割増 = (141.45) 123 の 17% 割増 = (143.91)		123 <input type="button" value="×"/> 12 <input type="button" value="%±"/> <input type="button" value="+"/> 15 <input type="button" value="%±"/> <input type="button" value="+"/> 17 <input type="button" value="%±"/> <input type="button" value="+"/>	123 • × 12 • % 14 • 76 ◇ 14 • 76 + 137 • 76 15 • % 18 • 45 ◇ 18 • 45 + 141 • 45 17 • % 20 • 91 ◇ 20 • 91 + 143 • 91

● キーによって、割増し、割引き計算を行なった後でも定数計算は続けられます。

計算式	設定	操作手順	印字内容
3) 定数増減率計算 $\frac{150 - 120}{120} = (25)\%$ $\frac{50 - 120}{120} = (-58.33)\%$		150 <input type="button" value="÷"/> 120 <input type="button" value="Δ%"/> 50 <input type="button" value="Δ%"/>	150 • ÷ 120 • = 30 • 00 25 • 00 Δ% 50 • K 70 • 00 - 58 • 33 ▽%

● $a \div b \Delta\%$ の操作で増減額 (a - b) を印字し、続いて増減率 $\frac{a - b}{b} \times 100$ を印字します。

累乗・逆数計算をするには

■累乗計算

計算式	設定	操作手順	印字内容
$3^5 = (243)$		3 \times $\left[\frac{*}{\equiv} \right]$ (2乗) $\left[\frac{*}{\equiv} \right]$ (3乗) $\left[\frac{*}{\equiv} \right]$ (4乗) $\left[\frac{*}{\equiv} \right]$ (5乗)	$3 \cdot \times$ $3 \cdot =$ $9 \cdot 00 \cdot *$ $9 \cdot 00 K$ $27 \cdot 00 \cdot *$ $27 \cdot 00 K$ $81 \cdot 00 \cdot *$ $81 \cdot 00 K$ $243 \cdot 00 \cdot *$

■逆数計算

計算式	設定	操作手順	印字内容
$\frac{1}{8} = (0.125)$		8 \div $\left[\frac{*}{\equiv} \right]$ $\left[\frac{*}{\equiv} \right]$	$8 \cdot \div$ $8 \cdot =$ $1 \cdot 000 \cdot *$ $1 \cdot 000 K$ $0 \cdot 125 \cdot *$

- 累乗計算では $\left[\frac{*}{\equiv} \right]$ キーを $(n - 1)$ 回押すことにより n 乗が得られます。
- $n \div \left[\frac{*}{\equiv} \right] \left[\frac{*}{\equiv} \right]$ と操作することにより逆数 $1 / n$ が得られます。
- 累乗・逆数計算を行なう場合は、定数計算スイッチを 位置に設定してください。

メモリ計算をするには

メモリ計算を行なう際には、プリントON/OFFスイッチを「ON」または「OFF」にセットしてください。



「ON」に指定：印字しながらメモリ計算を行ないます。



「OFF」に指定：印字をせずにメモリ計算を行ないます。

メモリプラス／イコールキー $M\pm$

乗除算の結果を求め、自動的にメモリに累積・保存するときに使用します。また表示されている数値をメモリに累積・保存することもできます。

メモリマイナス／イコールキー $M\equiv$

乗除算の結果を求め、自動的にメモリから減算するときに使用します。また表示されている数値をメモリから引くこともできます。

サブトータルリコールメモリキー S

メモリ内容と呼出すときに使用します。

トータルリコールメモリキー T

メモリの内容と呼出して同時にメモリ内容をクリアします。





自動累積／パーセンテージメモリスイッチ $AMMU\% \pm$

$AMMU\% \pm$ (\times) を押すたびに、数値または、計算結果がメモリへ自動累積されます。

$AMMU\% \pm$ (\equiv) : メモリを使ったマークアップ、マークダウン計算を行なうときにセットします。

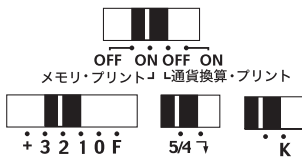



$AMMU\% \pm$ (\pm) : メモリを使った割増し、割引き計算を行なうときにセットします。

計算式	操作	表示	メモリの内容	説明
1) 加減算 $14 + 76 = 90$ $-) 17 + 39 = 56$ <hr/> (34) $+) 50 - 21 = 29$ <hr/> (63)	$14 (+) 76 (+) (\times) (\equiv)$ $M\pm$	90 M 90	0 + 90	加減算の場合、 (\times) 後、 $(M\pm)$ あるいは $(M\equiv)$ を押してメモリに加算、あるいは減算します。
	$17 (+) 39 (+) (\times) (\equiv)$ $M\equiv$	M 56 M 56	+ 90 + 34	$(M\equiv)$ は現在のメモリ内容(この場合90)から置数や演算結果(56)を引きます。
	$50 (+) 21 (-) (S)$	M 34	+ 34	メモリの中間計と呼出します。
	$50 (+) 21 (-) (\times) (\equiv)$ $M\pm$	M 29	+ 34	
	$50 (+) 21 (-) (\pm)$ $M\pm$	M 29	+ 63	
	$50 (+) 21 (-) (T)$	M 63	0	(T) キーを押すことにより、メモリの合計と呼出して同時にメモリの内容を消去します。ディスプレイのMが消えます。

計算式	操作	表示	メモリの内容	説明
2) 乗除算 $12 \times 45 = 540$ $25 \times 33 = 825$ <hr/> $(1,365)$	12×45 $\text{M}\pm$ 25×33 $\text{M}\pm$ 	M 540 M 825 1365	+ 540 +1365 0	乗除算の場合は、直接 $\text{M}\pm$ / $\text{M}\pm$ キーを押すだけで、結果がメモリに加算/減算されます。 メモリの合計を呼出します。
3) 自動累積計算  スイッチ使用 $12 + 23 = 35$ $34 \times 2 = 68$ $+558 \div 93 = 6$ <hr/> (109)	$12 + 23$ $\text{M}\pm$ $\text{M}\pm$ 34×2 $\text{M}\pm$ $\text{M}\pm$ $558 \div 93$ $\text{M}\pm$ $\text{M}\pm$ 	M 35 M 68 M 6 109	+ 35 + 103 + 109 0	自動累積スイッチをAMの位置に設定すると、 $\text{M}\pm$ を押すたびに数値は自動的にメモリに累積されます。  キーを押すことにより、メモリの合計を呼出し、同時にメモリの内容を消去します。

■メモリを使った計算

計算を始める前に、必ず T キーを押してメモリの内容をクリアしてください。

計算式	設定	操作手順	印字内容
1) 商和差計算 $14,377 \div 0.78$ $= (18,432.05)$ $3,761 \div 0.86$ $= (4,373.26)$ $7,536 \div 0.64$ $= (11,775)$ <hr/> 小計 (34,580.31) $-) 4,268 \div 0.58$ $= (7,358.62)$ <hr/> 合計 (27,221.69)	 OFF ON OFF ON メモリ・プリント 通貨換算・プリント + 3 2 1 0 F 5/4 7 * K  AMMU %± OFF n+ n+/- アイテム	$14377 \div$ $\cdot 78$ $\text{M}\pm$ $3761 \div$ $\cdot 86$ $\text{M}\pm$ $7536 \div$ $\cdot 64$ $\text{M}\pm$  $4268 \div$ $\cdot 58$ $\text{M}\pm$ 	14 377 • \div 0 • 78 = 18 432 • 05 M+ 3 761 • \div 0 • 86 = 4 373 • 26 M+ 7 536 • \div 0 • 64 = 11 775 • 00 M+ 34 580 • 31 S 4 268 • \div 0 • 58 = 7 358 • 62 M- 27 221 • 69 T

2) 積和差計算





「定価 1,000 円の薬を 15% 引きで 2 個、定価 600 円のハンカチを 20% 引きで 3 枚、定価 450 円のノートを 30% 引きで 4 冊買い 1 万円出すと、おつりはいくらになるか」


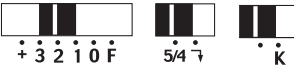










商品名	単価 (円)	値引率	売価 (円)	点数	小計 (円)
薬	1000	15%	850	2	1700
ハンカチ	600	20%	480	3	1440
ノート	450	30%	315	4	1260

計算式	設定	操作手順	印字内容
$1,000 \times 15\%$ $=150$ $(1,000 - 150) \times 2$ $=1,700$		1000 <input type="button" value="×"/> 15 <input type="button" value="%±"/> - <input type="button" value="-"/> 2 <input type="button" value="M±"/>	1 000 • X 15 • % 150 • ◇ 150 • - 850 • 850 • X 2 • = 1 700 • M+
$600 \times 20\%$ $=120$ $(600 - 120) \times 3$ $=1,440$		600 <input type="button" value="×"/> 20 <input type="button" value="%±"/> - <input type="button" value="-"/> 3 <input type="button" value="M±"/>	600 • X 20 • % 120 • ◇ 120 • - 480 • 480 • X 3 • = 1 440 • M+
$450 \times 30\%$ $=135$ $(450 - 135) \times 4$ $=1,260$		450 <input type="button" value="×"/> 30 <input type="button" value="%±"/> - <input type="button" value="-"/> 4 <input type="button" value="M±"/>	3 140 • S 450 • X 30 • % 135 • ◇ 135 • - 315 • 315 • X 4 • = 1 260 • M+
$1,700$ $+) 1,440$ <hr/> 小計 (3,140)		- <input type="button" value="-"/> 3 <input type="button" value="M±"/>	480 • 480 • X 3 • = 1 440 • M+
$3,140$ $+) 1,260$ <hr/> 小計 (4,400)		- <input type="button" value="-"/> 4 <input type="button" value="M±"/>	3 140 • S 450 • X 30 • % 135 • ◇ 135 • - 315 • 315 • X 4 • = 1 260 • M+
$10,000$ $-) 4,400$ <hr/> 合計 (5,600)		10000 <input type="button" value="s"/> + <input type="button" value="+"/> - <input type="button" value="-"/> * <input type="button" value="*"/>	4 400 • S 10 000 • + 4 400 • S 4 400 • - 5 600 • *

計算式	設定	操作手順	印字内容
3) 小計・合計の算出 125 78 +) 69 小計 (272) 75 103 +) 60 小計 (238) 64 +) 70 小計 (134) 68 +) 90 小計 (158) 合計 (802)		125 (+) 78 (+) 69 (+) (* =) 272 • M+ 75 (+) 103 (+) 60 (+) (* =) 238 • M+ 64 (+) 70 (+) (* =) 134 • M+ 68 (+) 90 (+) (* =) 158 • M+ T 802 • T	125 • + 78 • + 69 • + 272 • M+ 75 • + 103 • + 60 • + 238 • M+ 64 • + 70 • + 134 • M+ 68 • + 90 • + 158 • M+ 802 • T





■メモリを使ったマークアップ／マークダウン計算をするには
本機はメモリ機能を使ったマークアップ／マークダウン計算をすることができます。










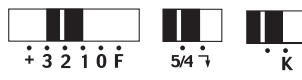






1. 自動累積／パーセンテージメモリスイッチを  にセットします。
2. 売価（マークアップ計算）や仕入れ値（マークダウン計算）を決める際のマージンを入力します。例えば、20%のマージンを得たいときは、20と入力してください。
3. マークアップ計算をするときは、 キーを押し、仕入れ値を入力します。
マークダウン計算をするときは、 キーを押し、売価を入力します。
4.  キーを押します。2で入力したマージンに基づいた新しい値段が求められます。

計算式	設定	操作手順	印字内容
<p>1) マークアップ計算</p> $5,000 + (\chi \times 20\%) = \chi$ $\chi = \frac{5,000}{\left(1 - \frac{20}{100}\right)}$ $= (6,250)$ $3,000 + (\chi \times 20\%) = \chi$ $\chi = \frac{3,000}{\left(1 - \frac{20}{100}\right)}$ $= (3,750)$	 OFF ON OFF ON メモリ・プリント 通貨換算・プリント   OFF n+ n+/- アイテム	20  5000  3000 	20・00 M+ 5 000・00 + 5 000・00 = 20・00 M% 1 250・ Δ+ 6 250・00 * 3 000・00 + 3 000・00 = 20・00 M% 750・ Δ+ 3 750・00 *
<p>2) マークダウン計算</p> $5,000 - (\chi \times 20\%) = \chi$ $\chi = \frac{5,000}{\left(1 + \frac{20}{100}\right)}$ $= (4,166.67)$ $3,000 - (\chi \times 20\%) = \chi$ $\chi = \frac{3,000}{\left(1 + \frac{20}{100}\right)}$ $= (2,500)$	 OFF ON OFF ON メモリ・プリント 通貨換算・プリント   OFF n+ n+/- アイテム	20  5000  3000 	20・00 M- 5 000・00 + 5 000・00 = 20・00 M̄% 8 33・33 Δ+ 4 166・67 * 3 000・00 + 3 000・00 = 20・00 M̄% 500・ Δ+ 2 500・00 *

■メモリを使った割増し、割引き計算をするには

本機は、メモリに一定の割合 (%) を記憶させ、それを使って、割増し、割引き計算を簡単に行なうことができます。例えば、メモリに消費税率 (5%) を記憶させておくと、ワンタッチで何度でも、消費税を含んだ支払い額を求めることができます。

1. 自動累積 / パーcentageメモリスイッチを  にセットします。
2. 割増し率、割引き率を入力します。例えば、5%の割増し額を求めるときは5と入力してください。
3. 結果に5%の割増しをするときは、 を、結果から5%の割引をするときは  を押してください。
4.  キーを押します。2で入力した割合 (5%) の割増し、または、割引を行ない、新しい結果が求められます。

計算式	設定	操作手順	印字内容
<p>1) 割増し計算 (税込み額を求める)</p> <p>2,000 3,000 +)4,000 ----- 9,000</p> $9,000 + 9,000 \times \frac{5}{100}$ <p>=(9,450)</p>	 OFF ON OFF ON メモリ・プリント ↓ 通貨換算・プリント  + 3 2 1 0 F 5/4 ↗ k  OFF n+ n+/- アイテム	5  2000  3000  4000  * 	5 • 00 M + 2 000 • 00 + 3 000 • 00 + 4 000 • 00 + 9 000 • 00 = 5 • 00 % 450 • 00 ◇ 9 450 • 00 *
<p>2) 割引き計算</p> <p>2,000 3,000 +)4,000 ----- 9,000</p> $9,000 - 9,000 \times \frac{5}{100}$ <p>=(8,550)</p>	 OFF ON OFF ON メモリ・プリント ↓ 通貨換算・プリント  + 3 2 1 0 F 5/4 ↗ k  OFF n+ n+/- アイテム	5  2000  3000  4000  * 	5 • 00 M - 2 000 • 00 + 3 000 • 00 + 4 000 • 00 + 9 000 • 00 = 5 • 00 -% 450 • 00 -◇ 8 550 • 00 *

通貨換算をするには

通貨換算を行なう際には、プリント ON/OFF スイッチを「ON」または「OFF」にセットしてください。




「ON」に指定：印字しながら通貨換算を行ないます。



「OFF」に指定：印字をせずに通貨換算を行ないます。

設定キー 

通貨換算レートを設定するときに使用します。

基本通貨 (L) キー 

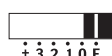
通貨換算を行なう際に、このキーが基本通貨（換算レートは1）となります。（L = Local の略。印字では「L」と表示されます。）

通貨 1 (C1)、通貨 2 (C2) キー  



設定したい換算レートを、各キーに1つずつ設定できます。（C = Conversion の略。印字では「C1」「C2」と印字されます。）

●小数点位置の指定について

基本通貨を1として、2つの異なる換算レート（通貨1、通貨2）間の換算を行なう場合、まず基本通貨へ換算され、それからもう一方の換算レートへと変換されます。本機では、途中、基本通貨へ換算される際の途中結果に対して小数点位置の指定ができます。※小数点位置指定は、0（指定無し、全桁表示）～9桁の範囲で設定可能です。

通貨1 = 105（円）、通貨2 = 0.8233（ユーロ）と設定した場合に、15,000円をユーロに換算します。（小数点スイッチは  に設定）

例) 小数点位置を「5」に指定した場合（小数点位置「5」で計算）

操作	表示	印字
15000 	(15'000.)	15 000 •
	(117.614283362)	105 • C1
		142 • 85714 L
		0 • 8233 C2
		117 • 614283362 *

■通貨換算

計算式	設定	操作手順	印字内容
1) 換算レート設定 ドルを基本通貨 (換算レート=1) として 通貨1(C1) = 105 (円) 通貨2(C2) = 0.8233 (ユーロ)	<p>OFF ON OFF ON メモリ・プリント L 通貨換算・プリント</p> <p>+ 3 2 1 0 F 5/4 ↵ k</p> <p>AMMU %± OFF n+ n+/- アイテム</p>	[C] [設定] (1秒間押し続ける) 105 [通貨1(C1)] [C] [設定] (1秒間押し続ける) 8233 [通貨2(C2)]	C C 105 • C1 C 0 • 8233 C2
2) 通貨レート確認 通貨1(C1) = 105 (円) 通貨2(C2) = 0.8233 (ユーロ)	<p>OFF ON OFF ON メモリ・プリント L 通貨換算・プリント</p> <p>+ 3 2 1 0 F 5/4 ↵ k</p> <p>AMMU %± OFF n+ n+/- アイテム</p>	[C] [通貨1(C1)] [C] [通貨2(C2)]	C 105 • C1 C 0 • 8233 C2
3) 途中結果に対する 小数点位置指定 小数点位置を「5」に指定	<p>OFF ON OFF ON メモリ・プリント L 通貨換算・プリント</p> <p>+ 3 2 1 0 F 5/4 ↵ k</p> <p>AMMU %± OFF n+ n+/- アイテム</p>	[C] [設定] (1秒間押し続ける) 5 [基本通貨(L)]	C 5 • L
計算式	設定	操作手順	印字内容
換算レート 通貨1(C1) = 105 (円) 通貨2(C2) = 0.8233 (ユーロ) 小数点位置指定無し 250ドル=?円 (26,250円) 15,000円=?ドル (142.86ドル) 360ユーロ=?円 (45,912円)	<p>OFF ON OFF ON メモリ・プリント L 通貨換算・プリント</p> <p>+ 3 2 1 0 F 5/4 ↵ k</p> <p>AMMU %± OFF n+ n+/- アイテム</p>	250 [基本通貨(L)] [通貨1(C1)] 15000 [通貨1(C1)] [基本通貨(L)] 360 [通貨2(C2)] [通貨1(C1)]	250 • L 105 • C1 26 250 • 00 * 15 000 • 105 • C1 142 • 86 L* 360 • 0 • 8233 C2 437 • 264666585 L 105 • C1 45 913 • *

データ（日付・品名コードなど）・小計の印字や 合計の再印字をするには

ノンアド・サブトータル・トータルリプリントキー 

1. ノンアド機能

計算に直接関係ない数字（日付や整理番号など）を計算の途中で入れるときに使用します。

2. サブトータル機能

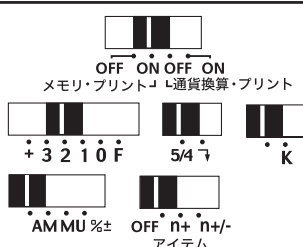










連続計算の中間計を求めるときに使用します。

3. トータルリプリント機能

直前の計算結果を再印字するときを使用します。

■ ノンアド機能を使った計算

1) 品名コードの印字をする場合

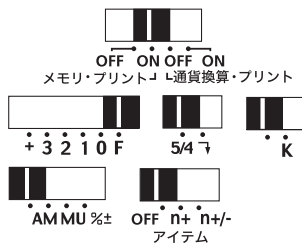
計算式				設定	操作手順	印字内容
品名 コード	数量	単価	売上高	 <p style="font-size: small;">OFF ON OFF ON メモリ・プリント 通貨換算・プリント + 3 2 1 0 F 5/4 7 k AMMU %± OFF n+ n+/- アイテム</p>	351 	#351 123 • x 98 • = 12 054 • 00 M+
No.351	123	98	(12,054)		123 	
No.426	36	103	(3,708)		98 	
No.458	85	101	(8,585)		426 	
計			(24,347)		36 	
				103 	#426 36 • x 103 • = 3 708 • 00 M+ #458 85 • x 101 • = 8 585 • 00 M+ 24 347 • 00 T	
				458 		
				85 		
				101 		
						

2) 2005年6月3日から5日までの交通費の精算をする場合（日付け印字）

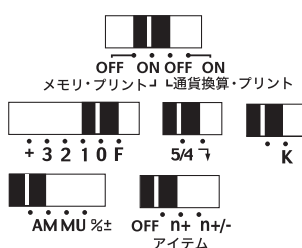
6月3日 電車賃 160円 タクシー代 2730円

6月4日 バス賃 160円 電車賃 360円

6月5日 電車賃 210円 タクシー代 1060円

計算式	設定	操作手順	印字内容
2005 .6.3. 160 + 2,730 = (2.890)		2005 (.) 6 (.) 3 (#) 160 (+) 2730 (+) (=) M±	#2005・6・3 160・ + 2 730・ + 2 890・ * 2 890・ M+
2005 .6.4. 160 + 360 = (520)		2005 (.) 6 (.) 4 (#) 160 (+) 360 (+) (=) M±	#2005・6・4 160・ + 360・ + 520・ * 520・ M+
2005 .6.5. 210 + 1,060 = (1,270)		2005 (.) 6 (.) 5 (#) 210 (+) 1060 (+) (=) M±	#2005・6・5 210・ + 1 060・ + 1 270・ * 1 270・ M+
2,890 + 520 + 1,270 = (4,680)		(=) T	1 270・ M+ 4 680・ T


■サブトータル・トータルリプリント機能を使った計算


計算式	設定	操作手順	印字内容
小計の印字および 合計の再印字 123 456 +) 789 (1,368) -) 321 (1,047)		123 (+) 456 (+) 789 (+) (#) 321 (-) (=) (#)	123・ + 456・ + 789・ + 1 368・ ◇ 321・ - 1 047・ * # 1047・


アイテム数をカウントするには

1度に多くのデータをカウントするとき、そのデータ数を確認するために設けられたのがアイテムカウント機能です。データを入力するごとにその数を自動的に集計するので、整理伝票の集計や、取扱い商品を集計するときなどに便利です。また、あらかじめ、データ数のわかっているものであれば、集計し忘れたデータがないかなどのチェックにも役立ちます。

アイテムカウントスイッチ 

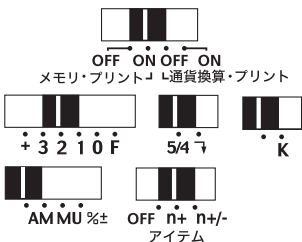
 : アイテムカウント機能を使用しないときにセットします。

 : プラスのデータ、マイナスのデータに関係なく、加減算で入力したすべてのアイテム数を集計するときにセットします。キー、キーを押した回数（アイテム数）が自動的に集計されます。

 : 加減算で入力したプラスのデータのアイテム数だけを集計するときにセットします。キーを押した回数だけが自動的に集計されます。この位置にセットすると、誤った数値を入力しても簡単に訂正することができます。誤入力した後にすぐ、キーを押してください。誤入力した数値がクリアされ、アイテム数も元に戻ります。

このアイテム数は集計結果を求めるときに () () キーを押したとき) 印字されます。小計を印字するには () キーを、合計を印字するには () キーを押します。

アイテム数はロールペーパーの左端に最大3桁まで印字することができます。

計算式	設定	操作手順	印字内容
演算回数のカウント		1860 <input type="button" value="+"/>	1 860 • 00 +
1 1,860		1420 <input type="button" value="+"/>	1 420 • 00 +
2 1,420		2380 <input type="button" value="+"/>	2 380 • 00 +
3 2,380		<input type="button" value="#"/>	003
小計 (3) 5,660		4552 <input type="button" value="+"/>	5 660 • 00 ◇
4 4,552		3660 <input type="button" value="+"/>	4 552 • 00 +
5 3,660		7432 <input type="button" value="+"/>	3 660 • 00 +
6 7,432		<input type="button" value="*"/>	006
合計 (6) 21,304			21 304 • 00 *

応用計算をするには

計算式	設定	操作手順	印字内容															
<p>1) 構成比計算 総売上高に対する各支店別売上比率を求めます。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>支店</th> <th>売上高 (単位千円)</th> <th>%</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A</td> <td>123</td> <td>(8.99)</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>456</td> <td>(33.33)</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>789</td> <td>(57.68)</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>(1,368)</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table> <p>計算式 $\text{売上比率} = \frac{\text{各支店売上高}}{\text{総売上高}} \times 100$</p>	支店	売上高 (単位千円)	%	A	123	(8.99)	B	456	(33.33)	C	789	(57.68)	合計	(1,368)	100		<p>123 [+] 456 [+] 789 [+] [=] M± 123 [÷] T [%±] 456 [%±] 789 [%±]</p>	<p>123 • 00 + 456 • 00 + 789 • 00 + 1 368 • 00 * 1 368 • 00 M+ 123 • ÷ 1 368 • 00 T 1 368 • 00 % 8 • 99 ◇ 456 • % 33 • 33 ◇ 789 • % 57 • 68 ◇</p>
支店	売上高 (単位千円)	%																
A	123	(8.99)																
B	456	(33.33)																
C	789	(57.68)																
合計	(1,368)	100																
<p>2) 按分比例計算 予算1,548,000円を各店の販売実績に応じて配分します。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>支店</th> <th>販売実績 (百万円)</th> <th>配分予算 (千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A</td> <td>147</td> <td>(294)</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>258</td> <td>(516)</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>369</td> <td>(738)</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>(774)</td> <td>1,548</td> </tr> </tbody> </table> <p>計算式 $\text{各支店配分予算} = \frac{\text{予算}}{\text{売上高合計}} \times \text{各支店売上高}$</p>	支店	販売実績 (百万円)	配分予算 (千円)	A	147	(294)	B	258	(516)	C	369	(738)	合計	(774)	1,548		<p>147 [+] 258 [+] 369 [+] [=] M± 1548 [÷] T [×] 147 [=] 258 [=] 369 [=]</p>	<p>147 • 00 + 258 • 00 + 369 • 00 + 774 • 00 * 774 • 00 M+ 1 548 • ÷ 774 • 00 T 774 • 00 x 147 • = 294 • 00 * 258 • K 516 • 00 * 369 • K 738 • 00 *</p>
支店	販売実績 (百万円)	配分予算 (千円)																
A	147	(294)																
B	258	(516)																
C	369	(738)																
合計	(774)	1,548																

オーバーフロー・エラー

以下の場合にはオーバーフロー・エラーとなり、サイン表示桁に ← を表示します。オーバーフロー・エラーとなった場合は C キーまたは CE キーを押してオーバーフロー・エラーを解除してから、次の計算を続けてください。なおオーバーフロー・エラーとなってもメモリ内容は保持されます。

■演算結果またはメモリの内容の整数部が12桁を越えた場合

1. 加減算結果またはメモリ内容のオーバーフロー

(例)	操作	表示	印字
	999999999999 $\boxed{+}$	(999' 999' 999' 999.)	999 999 999 999 • +
	$\boxed{+}$	(← 1.999999999999)	999 999 999 999 • + 002 1 • 999999999999E

※小数点が、カットされた整数部の桁数だけ最上位桁からまわり込んだ位置に表示されます

2. 乗除算結果のオーバーフロー

(例)	操作	表示	印字
	123456 $\boxed{\times}$	(123'456)	123 456 • x
	67890 $\boxed{\times}$	(8'381'427'840.)	67 890 • x
	200 $\boxed{=}$	(← 1.67628556800)	200 • = 1 • 67628556800 E

■ $a \div 0$ (除数が0の除算) を行なった場合

(例)	操作	表示	印字
	10 $\boxed{\div}$	(10.)	10 • ÷
	0 $\boxed{=}$	(← 0.)	0 • = E

■キー入力バッファオーバーフロー

本機は早いキー操作にも対応できるように、入力バッファレジスタをそなえています。入力バッファレジスタとは、計算を実行中に数値キーや命令キーが押されても、計算機がそれらを一時的に覚えていて、順次計算が行なわれる機能です。バッファレジスタの許容範囲 (12 キー分) を越えたときは、オーバーフローとなりますので CE キーを押して解除してください。

3 長くお使いいただくためには

お願いとご注意

■ 次の場所ではご使用にならないでください。

● 直射日光や暖房などによって高温になるところ。

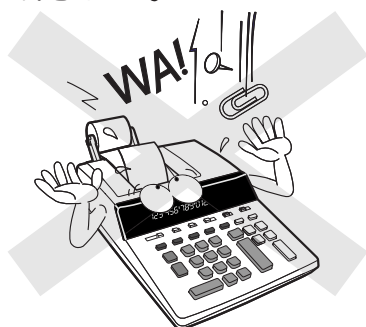
● 温度変化の激しいところ

● 湿気、ごみ、ほこりの多いところ

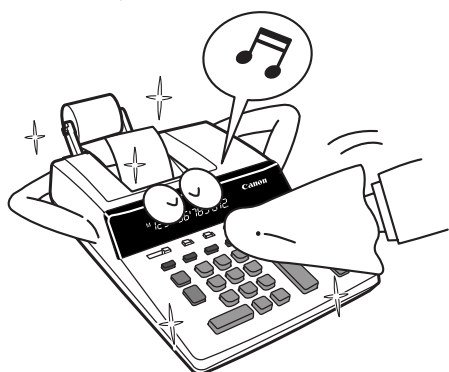


● 鉄粉などの多いところ。

プリンタには磁石類を使用していますので、クリップなどの金属片を内部に落とすことのないようご注意ください。



■ 本体が汚れたときには乾いた柔らかい布で汚れをふき取ってください。有機溶剤（シンナー、ベンジン）は絶対に使用しないでください。



■ ロールペーパーが取り付けられていない状態では印字しないでください。



■ 本機の上、特にプリンタの上には重いものを置かないでください。

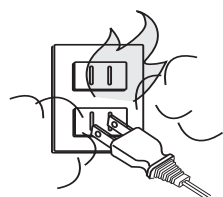


■ 異常（例：発煙、異臭、異常な音など）が生じた場合には、電源プラグをコンセントから抜いてください。電源プラグが抜けるようにコンセントのまわりには物を置かないでください。また、電源プラグをコンセントから抜く際には本機の電源スイッチがオフになっていることをあらかじめご確認ください。



警告

電源プラグを定期的に抜き、その周辺およびコンセントに溜まったほこりや汚れを、乾いた布で拭き取ってください。ほこり、湿気、油煙の多いところで、電源プラグを長時間差したままにすると、その周辺に溜まったほこりが湿気を吸って絶縁不良となり、火災の原因になります。

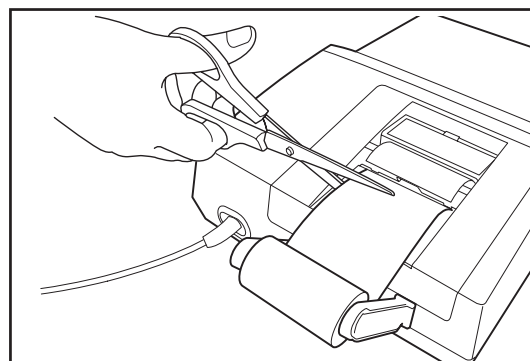



ロールペーパーを交換するには

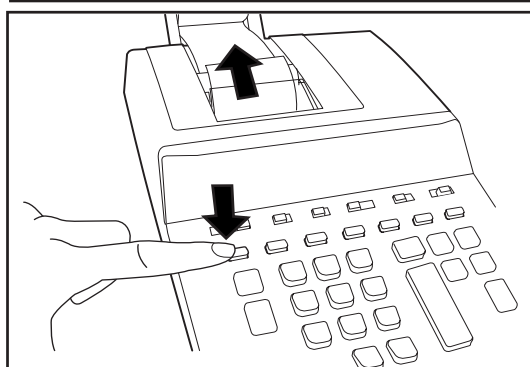
使用中のロールペーパーが終端部に達したら、すみやかに新しいロールペーパーと交換してください。終端部に達しても印字を続けたり、ペーパーフィードを続けたりすると、紙詰まりやプリンタ故障の原因となります。

1.電源がONになっていることを確認します。

ロールペーパーをペーパー挿入口の手前でいったん切り、ロールペーパーとプリンタを切り放します。



2.  を押してプリンタユニット内に残された部分を外へ送り出します。



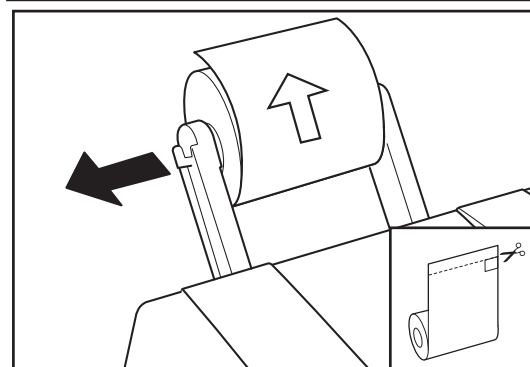
3. ペーパーホルダーにロールペーパーをセットします。


なお、ロールペーパーには次の規格のものを使用してください。

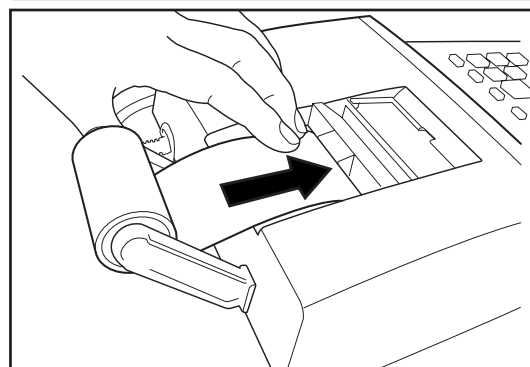
<規格>形式：キヤノンロールペーパー MP-57

紙幅：57mm

外径：70mm



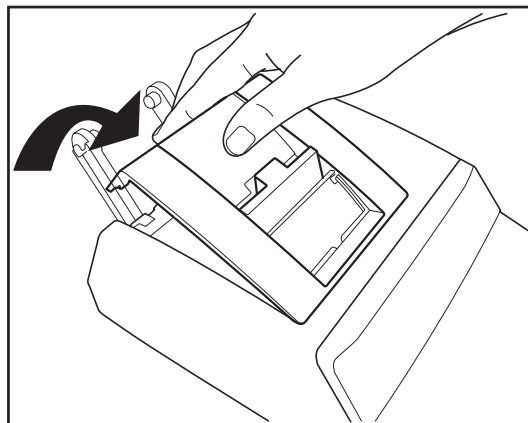
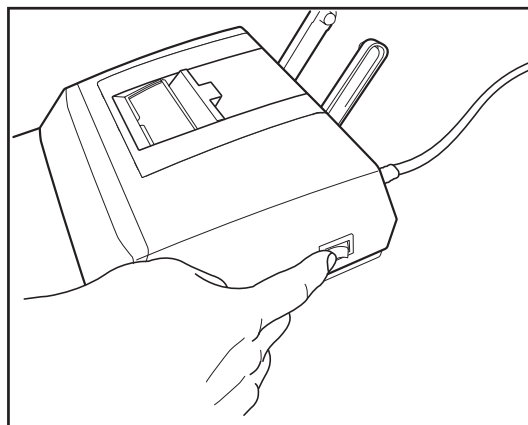
4. ロールペーパーの先端をペーパー挿入口に入れ、先端が突き当たるまで深くしっかりと差し込みます。 キーを押して、紙送りをします。



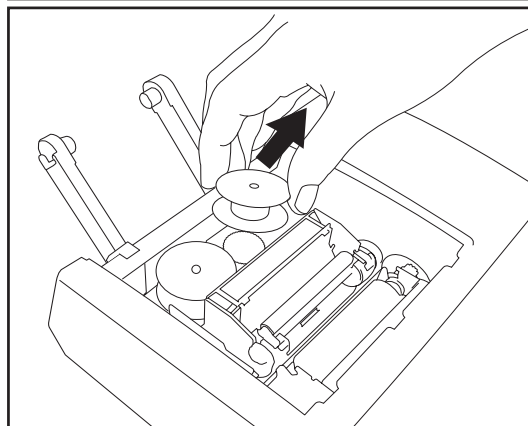
※ロールペーパーは手で無理に引き戻すと故障の原因となることがありますので、ご注意ください。特にロールペーパー側へ引き戻すことは絶対にお止めください。

インクリボンを交換するには

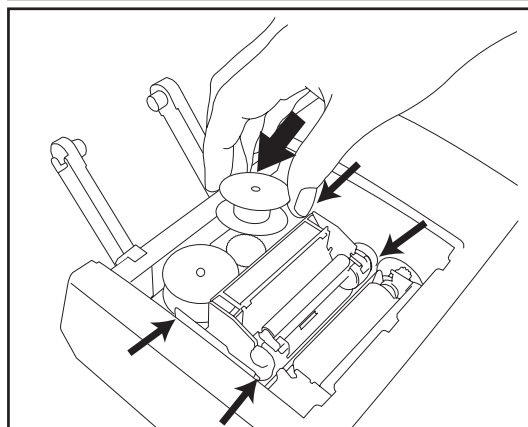
1. 電源を OFF にします。次に、プリンタカバーの突起を持ち上げて、プリンタカバーを取り外します。



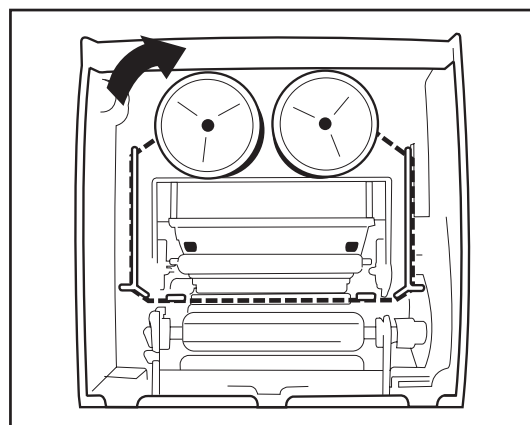
2. 左右のリボンを軸から取り外します。



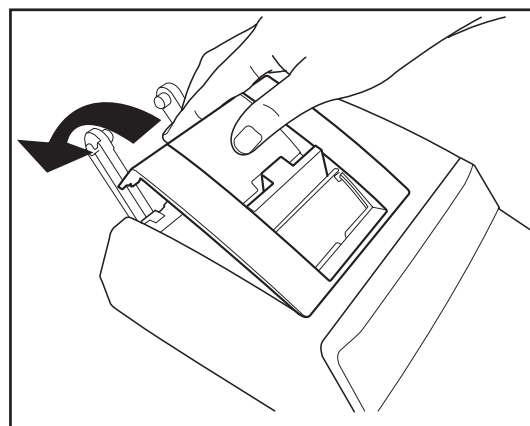
3. 新しいインクリボンの黒い方を上にして、まず左側の軸にインクリボンを差し込みます。インクリボンを活字ローラーとペーパーローラーの間を通しながら、リボンガイド（左右凹部4点）にかけます。その後、もう一方のインクリボンを右側の軸に差し込みます。この時、インクリボンがリボンガイドに沿っているかを確認してください。



4. インクリボンをはめ終えた後、左のインクリボンを時計方向に回し、インクリボンのたるみをなくします。



5. プリンタカバーを取り付けます。



■ インクリボンについて

インクリボンは、次の規格のものをお求めください。規格外のものをご使用になると、リボンが破損したり、印字が不鮮明になることがあります。

<規格> 形式：キヤノンインクリボン EP102/M310 型
幅 : 13 mm
長さ : 6 m

鮮明に印字するためには、インクリボンをロールペーパー5～7巻使用後、もしくは6ヶ月ごとに交換してください。

仕様

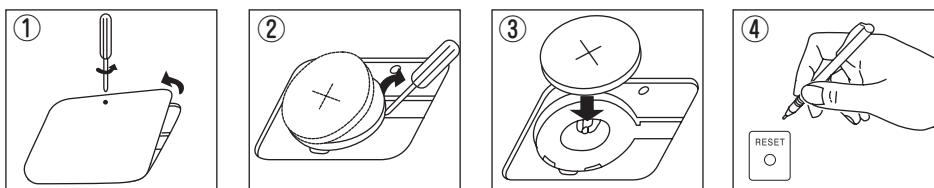
型式	：	キヤノン P39-D IV
シ算容量	：	演算用3本、メモリ用1本、入力バッファ用1本 (12キー分)、アイテム用2本
ス容桁数	：	被演算数、演算数、結果ともに12桁
字速度	：	数字12桁、記号2桁、小数点1桁、符号1桁
印字	：	約3.6行/秒 (印字中の置数および、命令キーの入力可能)
	：	黒、赤 (2色)
	：	使用インクリボン：キヤノンインクリボン EP102/M310型 幅13mm、長さ6m
	：	使用ロールペーパー：キヤノンMP-57 幅57mm、外径70mm
表示	：	蛍光表示、12桁、記号桁
小数点方式	：	上位桁優先 置数/連乗除算の演算途中→浮動小数点、 結果→指定小数点0.1.2.3.F (浮動小数点) の各桁および、+ (アドモード) に指定可能
負算内容	：	置数、結果とも真数を一符号とともに表示または印字 加減乗除算、連乗連除算、混合計算、定数計算、累乗・逆数計算、リピート加減算、アドモード計算、パーセント・割増し・割引計算、メモリ計算、マークアップ、マークダウン計算、増減率計算、通貨換算
安全機能	：	電源ON自動クリア、キー入力バッファ、キー入力のロールオーバー方式
付帯機能	：	#キーによる日付、番号などの数字の印字
使用電素子	：	MOS-LSI
電源	：	100V 最大25W
使用温度範囲	：	0℃～40℃
寸法	：	幅207mm×奥行300mm×高さ76mm
重量	：	1.65kg

<バックアップバッテリー：ご使用前に絶縁シートを取り外してください>
電源をOFFにしても税率及び換算レートが保持されるよう、本体裏にバックアップバッテリーが格納されています。

【電池交換】

◆電池：リチウム電池 (型番は本体裏面をご覧ください。)

* 指定以外の電池を使用した場合、電池の破裂や液漏れ等が起こる危険性があるため、電池は本体裏面に明記されている型番のものをご使用ください。



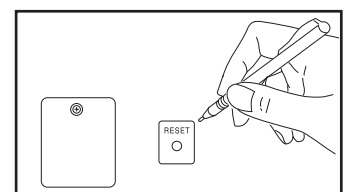
* 電池交換後は、リセット操作を行ってください。(図④)

* 使用済みの電池は、+極と-極をテープで絶縁してから、お住まいの地域の環境法と廃棄基準に従って廃棄してください。

本体裏面の RESET ボタン

計算中にすべてのキーが動かなくなる等の異常が発生した場合は、本体裏面のRESETボタンを先端の細いもので押してください。

* リセット操作を行なうと税率・換算レートがクリアされるので、再度設定をおこなってください。



◆改良のため、予告なく仕様の変更を行なうことがありますので、あらかじめご了承ください。

保証内容

1. 使用説明書に従った正常な使用状態で故障した場合、保証期間中は修理または機械交換を無料で行います。
2. 保証期間はご購入後本体のみ1年間といたします。
3. 保証期間内でも次のような場合は有料となります。
 - イ)取扱い上の不注意、誤用による故障・損傷。
 - ロ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障及び損傷。
 - ハ)不適切な移動・落下などによる故障・損傷。
 - ニ)弊社指定の販売店・サービス店以外で修理・改造が行われた場合の故障・損傷。
 - ホ)本保証書におご購入日・お客様名・販売店名の記入がない場合、または字句が書き替えられた場合。
 - ヘ)本保証書の提示がない場合。
4. 製品には必ず本保証書を添えて、ご購入店または弊社サービスセンターまでご持参またはご郵送ください。なお、その場合の交通費・郵送料・その他諸掛りはお客様のご負担となります。
5. 保証期間経過後は規定の修理・交換料金を申し受けます。
6. 本製品の故障またはその使用によって生じた直接、間接の損害については、当社はその責任を負わないものとします。
7. ご転居・ご贈答品等でおご購入店で修理を受けられない場合は、弊社サービスセンターにご相談ください。
8. 本保証書は日本国内でのみ有効です。
9. この保証書は本書に明示した保証条件のもとで無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理についてご不明の場合は弊社サービスセンターにお問合わせください。
10. 修理内容の記録は修理伝票にかえさせていただきます。
11. 保証書は再発行はできませんので、保管にご留意ください。

交換サービスのご案内

お客様に迅速かつ確実なサービスをお届けするために、同一機種または弊社規定に従い同等程度の仕様製品との機械交換方式を採用しております。

なお、故障状況により部品交換修理方式を採用させていただく場合がございます。

製品をご郵送くださる場合

1. 保証書にご愛用者名、ご住所、電話番号を必ずご記入の上、故障内容を記したメモ等をつけて製品と同封してください。
2. 保証書の保証期間及び、販売店名をご確認ください。無記入の場合は保証期間内でも有料になる場合がありますので、ご注意ください。
3. 製品は緩衝材に包んでボール箱かメールパック（郵送用の袋）に入れ、郵送中の破損、損傷を防ぐようにご配慮ください。

修理メモ

取扱い方法についてのご質問、ご相談に電話でお答えします。

お客様相談センター (全国共通番号) 050-555-90025

[受付時間]< 平日 >9:00 ~ 20:00

< 土日祝日 >10:00 ~ 17:00

(1/1 ~ 3 は休ませていただきます)

※上記番号をご利用いただけない方は 043-211-9632 をご利用ください。

※上記番号は IP 電話プロバイダーのサービスによってつながらない場合があります。

※受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

製品に関する情報はこちらでもご確認いただけます。

キヤノン計算機ホームページ canon.jp/cal

修理受付窓口

修理サービスのご相談は、お買い上げ販売店または、下記のサービス窓口へお問い合わせ下さい。
下記、修理受付窓口の受付時間は 9:00AM ~ 5:30PM です。土曜、日曜、祝祭日は休ませていただきます。
(但し、東京 QR センター・新宿 QR センターの営業時間は 10:00AM ~ 6:00PM、休業日は日曜・祝祭日です。)
また、※印のサービスセンターでは、郵送・宅配による修理品もお取扱いを致しております。

(北 海 道 地 区)

※札幌サービスセンター ☎(011)728-0665 〒060-8522 北海道札幌市北区北 7 条西 1-1-2
SE 山京ビル 1F 札幌支店内

(東 北 地 区)

※仙台 QR センター ☎(022)217-3210 〒980-8560 宮城県仙台市青葉区国分町 3-6-1
仙台パークビルディング 1F 仙台支店内

(関 東 ・ 信 越 地 区)

大宮サービスセンター (持込のみ) ☎(048)649-1450 〒330-0854 埼玉県さいたま市大宮区桜木町 1-10-17
シーノ大宮サウスウイング 6F さいたま営業所内
東日本修理センター (持込のみ) ☎(043)211-9032 〒261-8711 千葉県千葉市美浜区中瀬 1-7-2
キヤノン販売ビル 1F 幕張事業所内

(東 京 ・ 神 奈 川 ・ 山 梨 地 区)

東京 QR センター (持込のみ) ☎(03)3837-2961 〒110-0005 東京都台東区上野 1-1-12 信井ビル 1F
新宿 QR センター (持込のみ) ☎(03)3348-4725 〒163-0401 東京都新宿区西新宿 2-1-1 新宿三井ビル 1F
横浜サービスセンター (持込のみ) ☎(045)312-0211 〒220-0004 神奈川県横浜市西区北幸 2-6-26
HI 横浜ビル 2F 横浜営業所内
※キヤノンテクニカルセンター ☎(0297)35-5000 〒306-0605 茨城県坂東市馬立 1234 F7 棟 3F
(郵送・宅配のみ)
関東地区・東京地区で郵送・宅配にて修理品をお送りいただく場合は、上記キヤノンテクニカルセンターにお送り下さい。

(中 部 ・ 北 陸 地 区)

※名古屋 QR センター ☎(052)939-1830 〒461-8511 愛知県名古屋市東区東桜 2-2-1
高岳パークビル 1F 名古屋支店内

(近 畿 地 区)

※大阪 QR センター ☎(06)6459-2565 〒530-0005 大阪府大阪市北区中之島 6-1-21
CFM 中之島ビル 2F

(中 国 ・ 四 国 地 区)

※広島サービスセンター ☎(082)240-6712 〒730-0051 広島県広島市中区大手町 3-7-5
広島パークビルディング 1F 広島支店内
※高松サービスセンター ☎(087)823-4681 〒760-0027 香川県高松市紺屋町 4-10
鹿島紺屋町ビル 3F 高松営業所内

(九 州 地 区)

※福岡 QR センター ☎(092)411-4173 〒812-0017 福岡県福岡市博多区美野島 1-2-1
キヤノン販売福岡ビル 1F 福岡支店内

2005年5月9日現在 上記の記載内容は都合により予告なく変更する場合がございますのでご了承ください。

PUB. E-IJ-1012©CANON ELECTRONIC BUSINESS MACHINES (H.K.) CO., LTD. 2005 PRINTED IN CHINA

PJ-0935-01A